

**WEEKLY SIGNAL**

平成31年3月8日(金) 1465号  
上田八木短資株式会社

**来週の市場とレート予想**

|        | 3/11(月)  | 3/12(火)                | 3/13(水)                | 3/14(木)   | 3/15(金)   |
|--------|--|------------------------|------------------------|---|---|
| 無担保O/N |  |                        | △0.086% ~ 0.001%       |   |   |
| 銀行券    | + 800  | + 1,000                | トシ                     | トシ  | トシ  |
| 財政他    | △ 7,900  | + 3,000                | △ 23,000               | + 2,000   | + 5,000   |
| 資金需給   | △ 7,100  | + 4,000                | △ 23,000               | + 2,000   | + 5,000   |
| 主要要因   | 国庫短期証券<br>発行・償還(3M・6M)                                     |                        | 源泉税揚げ<br>国債発行(5年)      | 交付税特会借入・償還  | 国債償還(2年)  |
| オペ期日   | 共通担保(全店) △ 4,900<br>CP等買入 △ 600<br>国債補充供給 + 200            |                        |                        |   |   |
| オペスタート | 共通担保(全店) + 4,800<br>国債買入 + 8,100                           |                        |                        |   |   |
| (日本)   | マネーストック(2月)<br>工作機械受注(2月)                                  | 日銀、営業毎旬報告<br>(3月10日現在) | 企業物価指数(2月)<br>機械受注(1月) | 日銀金融政策決定会合(1日目)   | 日銀金融政策決定会合(2日目)<br>黒田日銀総裁、会見  |
| (海外)   | 米 2020年度予算算書を発表<br>米 小売売上高(1月)<br>米 企業在庫(12月)<br>ユーロ圏財務相会合 | 米 CPI(2月)<br>EU財務相理事会  | 米 耐久財受注(1月)            | 米 新築住宅販売件数(1月)<br>米 輸入物価指数(2月)<br>米 新規失業保険申請件数<br>(9日終了週) | 米 鉱工業生産(2月)<br>米 求人件数(1月)<br>米 シガン大学消費者<br>マインド指数(3月、速報値)<br>ユーロ圏 CPI(2月、改定値) |

**【インターバンク市場】**

**<インターバンク>**

| 無担保ターム物 | 予想レンジ          |
|---------|----------------|
| SPOT 1M | △0.010 ~ 0.050 |
| SPOT 2M | △0.010 ~ 0.060 |
| SPOT 3M | △0.010 ~ 0.070 |
| SPOT 6M | △0.010 ~ 0.100 |

日銀当座預金残高は週初、税・保険料揚げ等の財政要因により前週末比5兆2,600億円減少の376兆1,700億円から始まった。その後は概ね横ばい圏で推移し、375兆3,600億円を越えた。  
無担保コールON物は、先週に引き続き堅調な地合いで推移した。同加重平均金利は4日の△0.047%から上昇基調を辿り、週末8日には△0.027%となった。ターム物は、1~2W物で△0.035~△0.015%での出合いが見られたものの、オファーが薄く取引は閑散としていた。  
8日、日銀は共通担保資金供給オペ(全店)を実施し、期間は3月11~12日(オファー額2兆円、応札なし)と3月11~25日(オファー額1.5兆円、応札4,781億円)の2本立てとなった。  
来週の主な予定は、日銀による金融政策決定会合(14、15日)、海外ではユーロ圏財務相会合(11日)、米CPI(12日)がある。

**【オープン市場】**

**<CP>**

|            |                |
|------------|----------------|
| CP3M(a-1+) | △0.010 ~ 0.000 |
| TDB 3M     | △0.15 ~ △0.10  |
| 現先(on/1w)  | △0.050 ~ 0.000 |

今週の入札発行総額は約4,200億円で、週間償還額(約9,600億円)に対し償還超となった。発行市場は、その他金融や商社等の大型償還からやや閑散なマーケットとなり、市場残高は先週末の20兆6,515億円から漸次減少し、20兆円台前半で推移した。発行レートは、期内物については0%近辺での出合い、期越物は積極的な購入ニーズもあり、0%からマイナスでの出合いとなった。5日に、CP等買入オペが予定通り3,500億円でオファーされた。オファー額の増額を受け、按分落札レート△0.006%、平均落札レート0.000%といずれも前回(按分△0.001%、平均0.005%)から低下した。  
来週の償還総額(3/11~3/15)は、1兆3,000億円程度となっている。発行市場は先週同様、大型償還案件が重なり償還超となる見込みで、閑散なマーケットが予想される。発行レートは、期内物で0%近辺での出合い、期越物は0%からマイナスレートでの出合いとなろう。12日に、CP等買入オペが3,500億円程度オファーされる予定となっている。

**<TDB>**

今週の国庫短期証券市場は先週に引き続き、軟調な地合。レポレートが0%程度まで上昇していることを受けて、国庫短期証券利回りも上昇する展開となった。7日入札の6M818回債は最高落札レート△0.1375%(前回債△0.1943%)、平均落札レート△0.1435%(同△0.2043%)と前回債から利回りが大きく上昇。8日入札の3M819回債も最高落札レート△0.1210%(前回債△0.1489%)、平均落札レート△0.1291%(同△0.1623%)も大きくマイナス幅を縮小している。セカンダリー市場でも上値は重く、同6M物は△0.14%程度、3M物は△0.12%程度と入札水準での出合であった。来週は14日に3Mの入札が予定されている。

**<レポ>**

銘柄先決めGC取引は週初△0.025%~△0.035%から始まり、週央にかけて同水準で推移した。TDB6M、3Mの発行が重なった11日受渡しは、△0.01%~△0.015%から出合いが付き始め、一時0.00%近辺での取引も見られた。SC取引では5年138回債のbidが多く、概ね△0.03%~△0.05%の出合い。10年353回債は入札日前日△0.04%~△0.05%で多く取引された。他2年395・396・397・398回債、5年135・136・137回債、10年334・335・336・337・338・339・340・341・342・343・344・345・346・347・348・349・350・351・352回債、20年164・165・166・167回債、30年59・60・61回債、40年10・11回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。